



## 2022年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年12月21日

上場会社名 アークランドサカモト株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9842 URL <https://www.arcland.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (COO) (氏名) 坂本 晴彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 志田 光明 TEL 0256-33-6000  
 四半期報告書提出予定日 2021年12月24日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年2月期第3四半期の連結業績 (2021年2月21日～2021年11月20日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第3四半期	245,709	159.5	16,663	63.2	18,663	70.1	16,979	165.1
2021年2月期第3四半期	94,686	14.1	10,212	34.7	10,973	33.4	6,404	50.6

(注) 包括利益 2022年2月期第3四半期 19,364百万円 (139.7%) 2021年2月期第3四半期 8,077百万円 (50.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第3四半期	418.66	—
2021年2月期第3四半期	157.91	—

(注) 前連結会計年度末より表示方法の変更を行っており、2021年2月期第3四半期については、当該表示方法の変更を反映した組み替え後の数値及び対前年同四半期増減率を記載しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年2月期第3四半期	378,862	108,606	25.8	2,405.52
2021年2月期	353,379	91,048	23.0	2,004.99

(参考) 自己資本 2022年2月期第3四半期 97,562百万円 2021年2月期 81,317百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	—	15.00	—	20.00	35.00
2022年2月期	—	15.00	—	—	—
2022年2月期 (予想)	—	—	—	20.00	35.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年2月期の連結業績予想 (2021年2月21日～2022年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	365,000	—	22,300	—	23,100	—	19,500	—	480.80

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、2021年5月13日に開催された第52回定時株主総会で、「定款一部変更の件」が承認されたことを受け、2022年度より決算期を2月20日から2月末日に変更しております。これに伴い、決算期変更の経過期間となる2022年2月期は2021年2月21日から2022年2月28日の12ヶ月8日決算となるため、通期の対前期増減率を記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年2月期3Q	41,381,686株	2021年2月期	41,381,686株
② 期末自己株式数	2022年2月期3Q	824,077株	2021年2月期	824,029株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年2月期3Q	40,557,647株	2021年2月期3Q	40,557,685株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7
3. その他 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2021年2月21日から2021年11月20日まで）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の普及に伴う感染者の減少や各種政策の効果等により、緩やかな回復傾向にあります。新たな変異株の感染拡大が懸念され、先行きは依然として、不透明な状況が続いております。

このような環境下、当社グループの主力であるホームセンターにおきましては、住まいと暮らしの必需品並びに農業や建築業等の仕事に不可欠な商品を多数提供する社会的インフラであるとの考えの下、感染拡大防止のための環境整備を行い、営業に努めて参りました。

また、当社グループは2020年11月9日に株式会社ビバホーム（以下、「ビバホーム」という。）を当社の子会社とし、連結の範囲に含めております。その結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高及び営業収入は254,633百万円（前年同期比162.1%増）、営業利益は16,663百万円（前年同期比63.2%増）、経常利益は18,663百万円（前年同期比70.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は16,979百万円（前年同期比165.1%増）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

#### <小売事業>

ホームセンター部門の売上高及び営業収入は200,639百万円（前年同期比261.0%増）（内、ビバホームは148,359百万円）となりました。前年の新型コロナウイルス感染症の拡大防止需要や巣ごもり消費の反動減により、既存店売上高が前年同期比5.4%減となりましたが、ビバホームの子会社化が寄与しております。

その他小売部門の売上高及び営業収入も同様に、7,017百万円（前年同期比19.8%増）（内、ビバホームは1,366百万円）となりました。

その結果、小売事業の売上高及び営業収入は207,656百万円（前年同期比238.0%増）、営業利益は10,200百万円（前年同期比82.7%増）となりました。

#### <卸売事業>

卸売事業の売上高及び営業収入は5,634百万円（前年同期比3.0%減）、営業利益は566百万円（前年同期比23.6%減）となりました。

#### <外食事業>

外食事業は、主力のどんかつ専門店「かつや」（国内）のFCを含む店舗数が純増9店舗の429店舗、「からやま」・「からあげ縁」（国内）も純増22店舗の159店舗となるなど、積極的な事業展開により、売上高及び営業収入は32,336百万円（前年同期比18.9%増）、営業利益は3,601百万円（前年同期比15.7%増）となりました。

#### <不動産事業>

不動産事業の売上高及び営業収入は8,392百万円（前年同期比281.1%増）（内、ビバホームは6,098百万円）、営業利益は2,288百万円（前年同期比134.5%増）となりました。

#### <その他>

その他にはフィットネス事業「JOYFIT」5店舗及び「FIT365」3店舗を含んでおります。フィットネス事業は徹底した新型コロナウイルス感染症対策に努めた結果、売上高及び営業収入は614百万円（前年同期比20.6%増）、営業利益は8百万円（前年同期は営業損失227百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比較して25,483百万円増加し、378,862百万円となりました。これは主に有形固定資産が20,206百万円、流動資産が4,345百万円増加したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比較して7,925百万円増加し、270,256百万円となりました。これは主に短期借入金49,830百万円減少した一方で、長期借入金40,149百万円、1年内返済予定の長期借入金12,884百万円増加したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比較して17,557百万円増加し、108,606百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が15,560百万円増加したことによるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年2月期の業績につきましては、2021年9月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年2月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年11月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	25,613	26,487
受取手形及び売掛金	9,785	10,153
商品及び製品	55,048	56,469
その他	6,034	7,715
貸倒引当金	△31	△30
流動資産合計	96,449	100,795
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	90,092	93,942
土地	56,201	72,483
リース資産(純額)	24,423	23,771
その他(純額)	10,833	11,560
有形固定資産合計	181,551	201,758
無形固定資産		
のれん	23,538	22,381
商標権	9,566	9,202
その他	6,470	7,790
無形固定資産合計	39,575	39,375
投資その他の資産		
投資有価証券	8,682	9,418
敷金及び保証金	23,459	23,896
その他	3,673	3,632
貸倒引当金	△12	△13
投資その他の資産合計	35,802	36,933
固定資産合計	256,929	278,067
資産合計	353,379	378,862

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年2月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年11月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	20,909	20,573
電子記録債務	21,581	26,009
短期借入金	104,530	54,700
1年内返済予定の長期借入金	9,115	22,000
リース債務	1,853	1,867
未払法人税等	4,939	6,437
賞与引当金	884	1,913
役員賞与引当金	42	—
ポイント引当金	158	289
資産除去債務	4	1
その他	15,517	11,796
流動負債合計	179,535	145,589
固定負債		
社債	2,110	2,109
長期借入金	25,600	65,750
リース債務	30,991	30,203
長期預り保証金	11,881	13,498
退職給付に係る負債	513	492
役員退職慰労引当金	180	180
資産除去債務	4,514	4,773
その他	7,001	7,659
固定負債合計	82,794	124,667
負債合計	262,330	270,256
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,462	6,462
資本剰余金	6,276	6,274
利益剰余金	68,166	83,726
自己株式	△641	△641
株主資本合計	80,264	95,822
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,144	1,718
為替換算調整勘定	△64	△73
繰延ヘッジ損益	△26	94
その他の包括利益累計額合計	1,053	1,739
非支配株主持分	9,730	11,044
純資産合計	91,048	108,606
負債純資産合計	353,379	378,862

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年2月21日 至 2020年11月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年2月21日 至 2021年11月20日)
売上高	94,686	245,709
売上原価	57,676	154,653
売上総利益	37,009	91,056
営業収入		
賃貸収入	2,467	8,821
その他	—	102
営業総利益	39,476	99,980
販売費及び一般管理費	29,264	83,317
営業利益	10,212	16,663
営業外収益		
受取利息	13	52
受取配当金	164	204
仕入割引	234	238
為替差益	—	60
助成金収入	137	2,191
持分法による投資利益	143	219
その他	147	251
営業外収益合計	840	3,218
営業外費用		
支払利息	58	937
為替差損	11	—
シンジケートローン手数料	—	251
その他	8	29
営業外費用合計	79	1,218
経常利益	10,973	18,663
特別利益		
固定資産売却益	—	10,237
テナント退店収入	27	4
投資有価証券売却益	14	—
段階取得に係る差益	435	—
その他	5	12
特別利益合計	483	10,254
特別損失		
固定資産除却損	16	169
災害による損失	—	71
投資有価証券評価損	152	—
減損損失	174	170
テナント移転補償金	—	119
店舗閉鎖損失	18	266
解体撤去費用	58	64
その他	48	74
特別損失合計	469	935
税金等調整前四半期純利益	10,988	27,982
法人税、住民税及び事業税	3,845	8,863
法人税等調整額	△193	448
法人税等合計	3,651	9,311
四半期純利益	7,336	18,671
非支配株主に帰属する四半期純利益	931	1,691
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,404	16,979

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年2月21日 至 2020年11月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年2月21日 至 2021年11月20日)
四半期純利益	7,336	18,671
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	749	573
為替換算調整勘定	△1	△3
繰延ヘッジ損益	—	120
持分法適用会社に対する持分相当額	△7	2
その他の包括利益合計	740	693
四半期包括利益	8,077	19,364
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,157	17,665
非支配株主に係る四半期包括利益	919	1,699



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2020年2月21日 至2020年11月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)2	調整額 (注)3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)4
	小売事業	卸売事業	外食事業	不動産事業	計			
営業収益(注)1								
(1) 外部顧客への営業収益	61,431	5,808	27,201	2,202	96,644	509	—	97,153
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	—	10,308	—	1,242	11,550	—	△11,550	—
計	61,431	16,116	27,201	3,444	108,195	509	△11,550	97,153
セグメント利益又は損失(△)	5,584	741	3,113	975	10,414	△227	24	10,212

(注) 1. 営業収益には、売上高と営業収入が含まれております。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、フィットネス事業を含んでおります。

3. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

4. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

「外食事業」セグメントにおいて、株式会社ミールワークス及びコスミックSY株式会社(旧コスミックダイニング株式会社)の株式を取得したことにより、のれんが発生しています。当該事象によるのれんの発生額は、それぞれ1,775百万円、459百万円であります。

なお、のれんの金額は、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分が反映された後の金額です。

「小売事業」及び「不動産事業」セグメントにおいて、株式会社ビバホームが自己株式を取得したことに伴い、当社の持分比率が増加したことにより、のれんが発生しています。当該事象によるのれんの発生額は、それぞれ10,624百万円、2,689百万円であります。

なお、のれんの金額は、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分が反映された後の金額です。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自2021年2月21日 至2021年11月20日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 2	調整額 (注) 3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 4
	小売事業	卸売事業	外食事業	不動産事業	計			
営業収益 (注) 1								
(1) 外部顧客への営業収益	207,656	5,634	32,336	8,392	254,019	614	—	254,633
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	91	9,665	—	1,193	10,949	0	△10,949	—
計	207,747	15,299	32,336	9,586	264,969	614	△10,949	254,633
セグメント利益	10,200	566	3,601	2,288	16,657	8	△2	16,663

(注) 1. 営業収益には、売上高と営業収入が含まれております。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、フィットネス事業を含んでおります。

3. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

4. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. その他

事業・部門・品目別販売実績

(単位：百万円、%)

	前第3四半期 連結累計期間 (自 2020年2月21日 至 2020年11月20日)		当第3四半期 連結累計期間 (自 2021年2月21日 至 2021年11月20日)		増減		(参考) 2021年2月期	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
卸売事業	5,808	6.0	5,634	2.2	△174	△3.0	7,467	4.1
小売事業	61,431	63.2	207,656	81.6	146,224	238.0	132,058	71.9
ホームセンター部門	55,574	57.2	200,639	78.8	145,064	261.0	123,640	67.4
D I Y関連用品	15,395	15.8	70,686	27.7	55,290	359.1	38,320	20.9
家庭用品	18,467	19.0	65,406	25.7	46,938	254.2	43,641	23.8
カー・レジャー用品	5,984	6.2	15,010	5.9	9,026	150.8	11,321	6.2
ペット・園芸用品	15,522	16.0	49,093	19.3	33,570	216.3	30,116	16.4
その他	203	0.2	441	0.2	238	117.1	240	0.1
その他小売部門	5,857	6.0	7,017	2.8	1,159	19.8	8,418	4.5
外食事業	27,201	28.0	32,336	12.7	5,134	18.9	38,634	21.0
不動産事業	2,202	2.3	8,392	3.3	6,190	281.1	4,691	2.6
その他	509	0.5	614	0.2	104	20.6	708	0.4
連結売上高	97,153	100.0	254,633	100.0	157,480	162.1	183,560	100.0

(注) 金額には、売上高と営業収入が含まれております。

「ペット・園芸用品」は、従来は「園芸用品」と表記しておりましたが、ペット用品が含まれていることを明確にするため、分類名を「ペット・園芸用品」に変更いたしました。